

長伐期・針広混交林施業への移行に伴う 分収造林契約の変更について

長期に渡る木材価格の低迷で、伐採収入の収益が見込めず、皆伐後の再造林費用の捻出もきびしく、再造林が放棄されることが懸念され、森林の持つ公益的機能の発揮に影響を及ぼす恐れがあります。

このことから、木材生産を行いながら森林の公益的機能の維持を図る施業として、植栽木(スギ)と天然広葉樹との混交林へ誘導を図る針広混交林施業に取り組む必要があります。

しかし、針広混交林へ誘導するためには期間を要することから、現在の契約期間(50~60年間)を30~40年延長して90年間(伐期は80年、プラス10年の猶予期間)の契約期間に変更することが求められています。

木材の付加価値を高め、森林の持つ多面的機能を発揮させるための長伐期・針広混交林施業に伴う契約期間の延長にご理解とご協力をお願いします。

住所・氏名等の変更届けについて

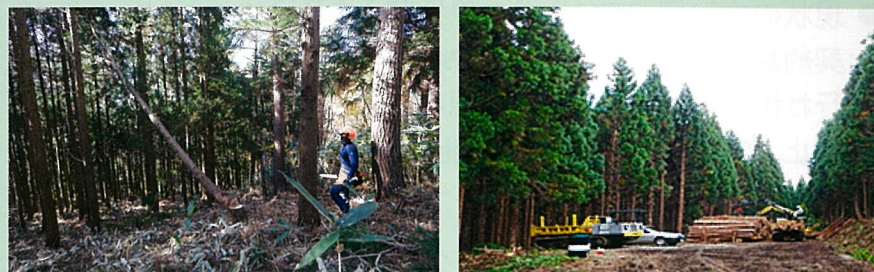
相続・転居や売買等により契約されている方の住所・氏名が変わる場合、ぜひご連絡ください。

連絡・問合せ先
〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2
公益社団法人 新潟県農林公社
森林・林業課 TEL 025-285-7711

新潟県農林公社の分収造林事業

● 公社設立の経緯

昭和47年に開催された第23回全国植樹祭を契機に、本県の厳しい自然条件のため立ち遅れている森林・林業の振興を目的として、同年11月社団法人新潟県林業公社を設立、現在は農業公社と合併して新潟県農林公社と名称を変更しています。



● 分収造林とは

分収造林は、山林をお持ちの土地所有者の方と新潟県農林公社(旧林業公社)との間で分収造林契約を結び、農林公社が造林に係る経費の全てを負担してスギなどの植栽と造林木の育成を行い、契約期間満了時には立木の伐採収益を分配(分収)する事業です。

昭和48年から平成16年まで、個人では植栽が困難な奥地での植栽(主にスギ)を分収方式で進め、平成28年度末現在、県内各地で747団地、10,182畝の分収林を育成管理し、木材生産とともに水資源のかん養、林地災害の未然防止等、森林が持つ公益的機能の維持増進に努めています。



新潟県美しい森林整備推進協議会

分収造林に関する非皆伐施業(針広混交林施業)を推進するためにできた組織で(公社)新潟県農林公社に事務局を置く任意団体です。長伐期による施業転換等の合意形成を行うための活動や、契約変更の推進等の活動を行っています。

発行・監修/新潟県美しい森林整備推進協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 TEL 025-285-7711

分収造林契約者の

皆様へ

お願い

新潟県美しい森林整備推進協議会
公益社団法人 新潟県農林公社

標準施業から「長伐期・針広混交林施業」へ移行します。

? 標準施業とは

一般材生産を目的に間伐実施後、標準伐期齢(45年生)程度で主伐を行う施業の方法で、主伐時には造林地の林木を一斉に伐採する皆伐施業を行います。

? 長伐期施業とは

森林の持つ公益的機能の維持、大径材生産等を目的として、標準伐期齢の概ね2倍の80年生程度に達するまで主伐を行わないで、主伐時期まで間伐(抜き切り)を繰り返す行う施業を長伐期施業と言います。

? 針広混交林への施業転換

主伐時期までの間伐(抜き切り)により、林内空間の天然広葉樹の生育を促し、スギと天然広葉樹との混交林へ誘導して森林の持つ公益的機能の維持を図ります。そして、主伐時期にはスギは伐採しますが広葉樹は残し、伐採跡地を裸地化させない施業を行います。

当初契約に基づく標準施業の問題点

- 現状の木材価格では十分な伐採収入を見込めないため、契約終了後の土地所有者における伐採跡地での再造林が行われず、裸地化により水資源の涵養機能や山地災害の防止、自然環境などの森林機能の低下が懸念されます。
- 当初契約の50年程度で伐採した場合、林齢の偏りにより、需要と供給のバランスが崩れ、木材価格のさらなる下落を招く恐れがあります。

長伐期・針広混交林施業のメリット

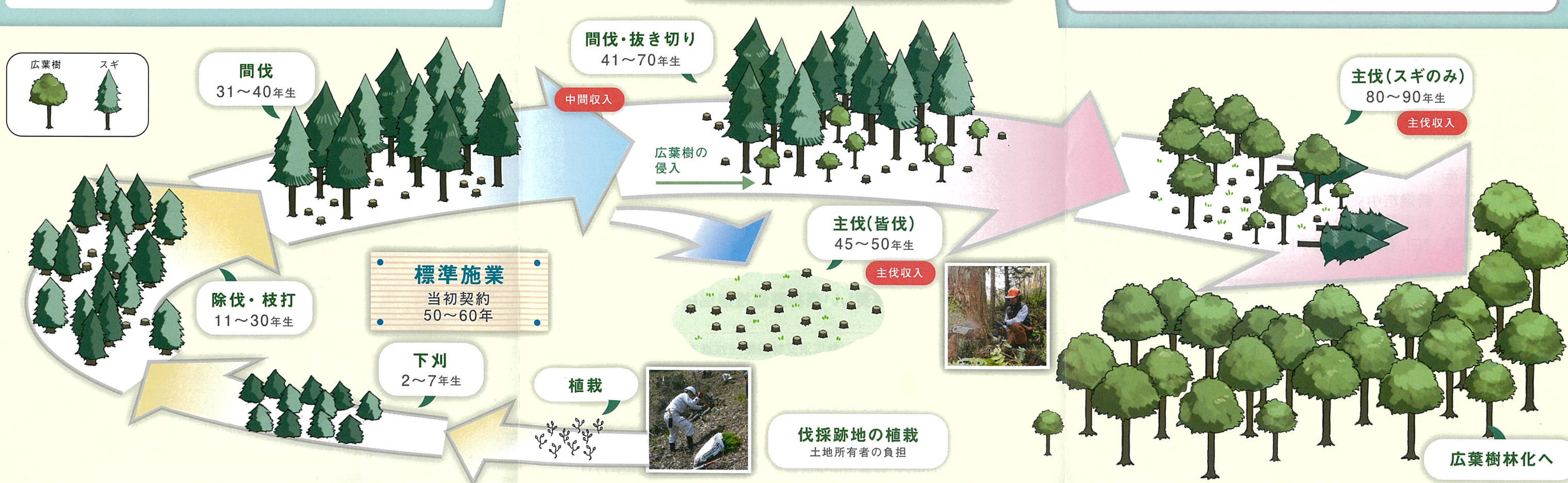
- 1 大規模面積を一斉皆伐しないことにより、森林の公益的機能の維持が図られます。
- 2 間伐(抜き切り)を繰り返すことにより、木材販売収入がその都度見込め、有利な時期の木材販売が可能となります。
- 3 長期間公社が管理することにより契約終了まで森林整備を継続していきます。
- 4 契約終了後は裸地化せずに土地所有者へ林地の引き渡しが可能となります。



施業方法のイメージ

長伐期・針広混交林施業へ

契約期間90年



長伐期・針広混交林施業のデメリット

- 1 主伐による収入までの期間が長くなります。
- 2 主伐までの期間が長くなるので、気象災害等の森林被害を受けるリスクが多くなります。